

看護技術論	1 年・前期	1 単位	教授 及川 秀子
科目カテゴリ	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110541

1. 授業のねらい・概要

「看護共通技術」の基礎知識に相当する科目であり、どの領域にも共通に適用される技術について、目的や方法および技術の根拠について学習する。また、看護提供者としての基本的な態度について考える機会とする。

2. 到達目標

1. 看護技術と看護援助の関係が理解できる。
2. 看護技術を支える要素が理解できる。
3. 主な援助技術の科学的根拠が理解できる。
4. 看護提供者として必要な基本的姿勢と態度について考えることができる。

3. 授業の進め方

講義形式で進めるが、適宜グループ学習や学生による課題発表を取り入れる。

4. 授業計画

1. 技術とは何か、看護技術の特徴・適切な実践
2. 病室環境のアセスメント、ベッド周囲の環境整備
3. 看護の対象との関係構築のためのコミュにケーション
4. プロセスレコードから学ぶ看護場面でのかかわり方
5. 基本的活動の基礎知識と援助について（姿勢と体位・ボディメカニクス）
6. 睡眠と休息の基礎知識と援助について
7. 苦痛の緩和・安楽の援助（電法・リラクゼーション）
8. 死後の処置 筆記試験（45 分）

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 80%，提出物 10%，授業態度 10%により総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：有田清子：系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院
有田清子：系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の範囲について最低 1 時間の予習および授業内容の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

看護体験実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出物は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。試験については実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与などの方針と当該科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。